

2022年3月期

決算説明会

2022/05/26



旭ダイヤモンド工業株式会社

01

2022年3月期決算の概要

02

2023年3月期の見通し

03

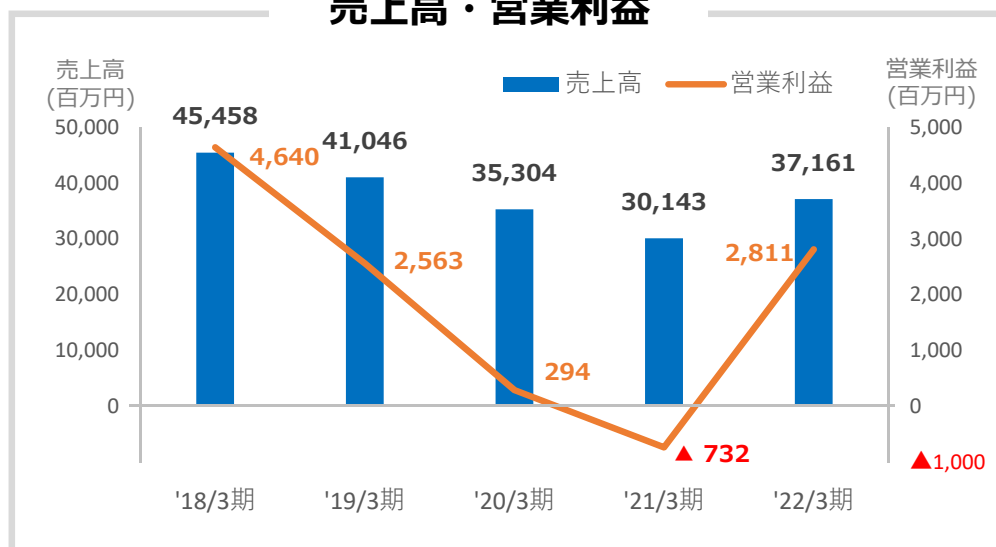
中期経営計画進捗状況

決算概要（連結）

単位：百万円

	'21年3月期		'22年3月期			
	実績	百分比 %	実績	百分比 %	前年同期 増減額	前年同期 増減率%
売上高	30,143	100.0	37,161	100.0	7,018	23.3
営業利益	▲732	▲2.4	2,811	7.6	3,543	-
経常利益	▲337	▲1.1	3,650	9.8	3,988	-
親会社株主に 帰属する当期純利益	▲331	▲1.1	3,288	8.8	3,619	-
1株あたり純利益(円)	▲5.97	-	59.23	-	65.20	-

売上高・営業利益



営業利益(対前年同期増減)

増加要因

- 売上の増加 4,878百万円

減少要因

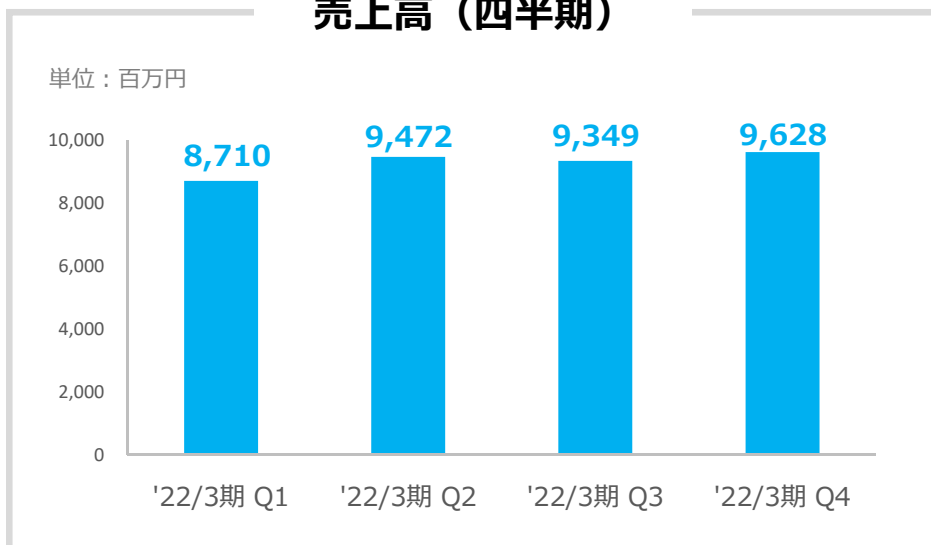
- 人件費の増加 819百万円
- 減価償却費の増加 114百万円

四半期別実績推移（連結）

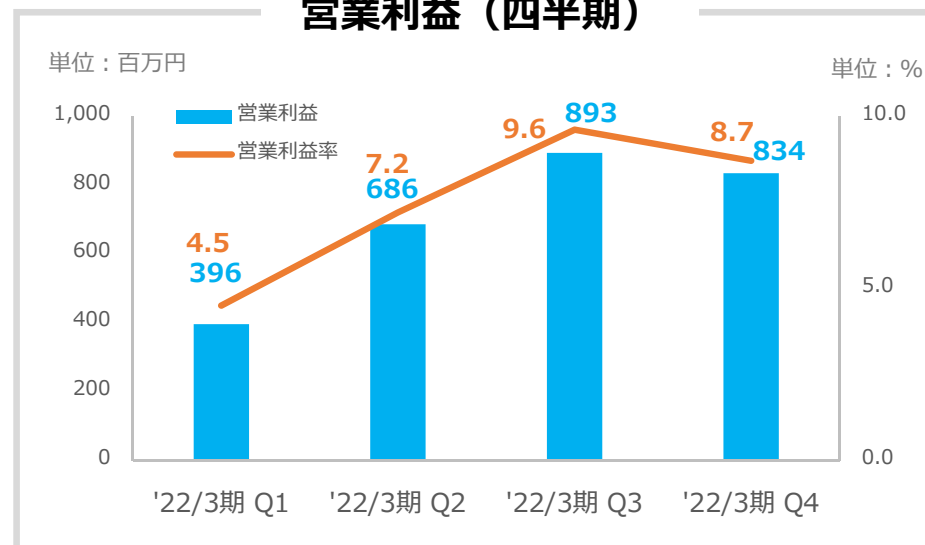
単位：百万円

	'22年3月期							
	第1四半期		第2四半期		第3四半期		第4四半期	
	実績	百分比%	実績	百分比%	実績	百分比%	実績	百分比%
売上高	8,710	100.0	9,472	100.0	9,349	100.0	9,628	100.0
営業利益	396	4.5	686	7.2	893	9.6	834	8.7
経常利益	544	6.3	822	8.7	1,084	11.6	1,199	12.5
親会社株主に 帰属する当期純利益	397	4.6	691	7.3	891	9.5	1,308	13.6

売上高（四半期）



営業利益（四半期）

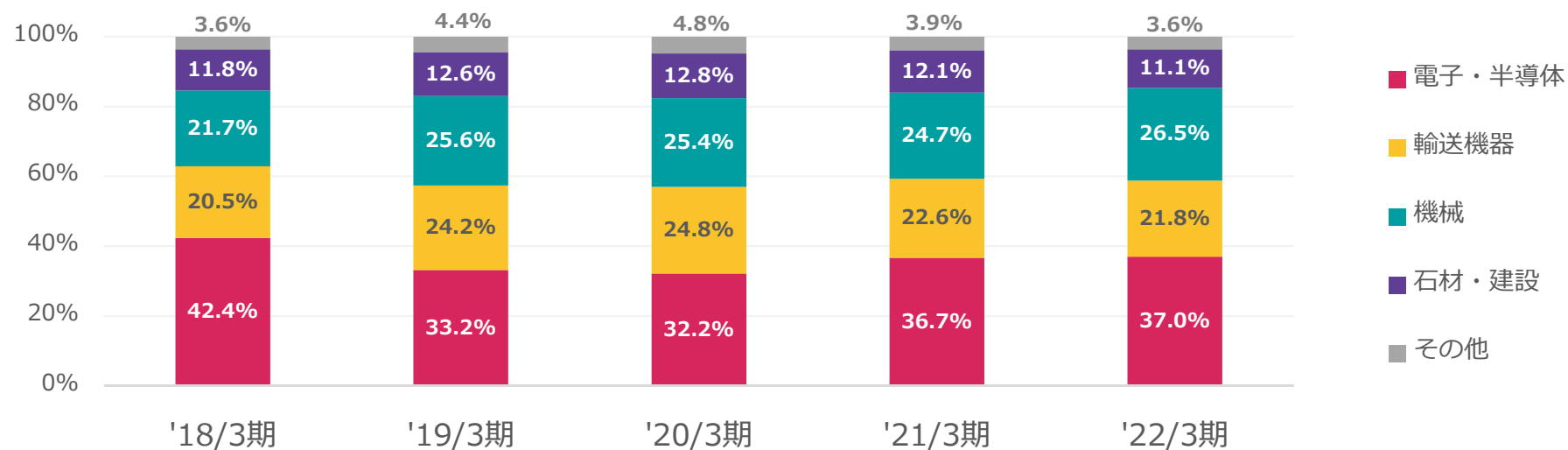


業界別売上高 及び 構成比 (連結)

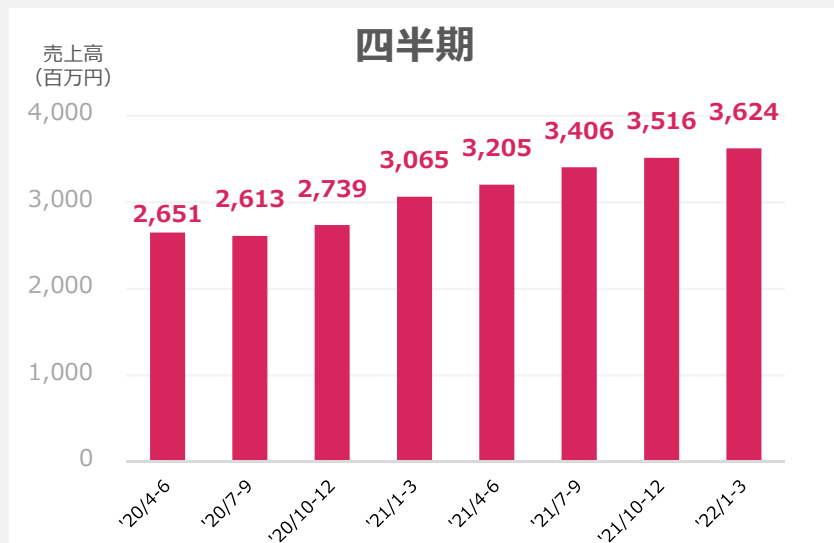
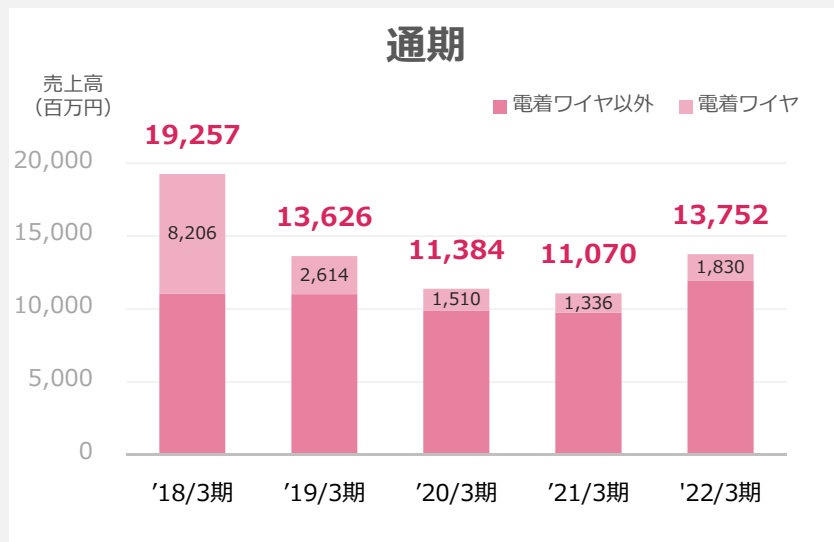
単位：百万円

	'21年3月期		'22年3月期			
	売上高	構成比%	売上高	構成比%	前年同期 増減額	前年同期 増減率%
■ 電子・半導体	11,070	36.7	13,752	37.0	2,682	24.2
■ 輸送機器	6,800	22.6	8,115	21.8	1,314	19.3
■ 機械	7,460	24.7	9,832	26.5	2,371	31.8
■ 石材・建設	3,635	12.1	4,124	11.1	489	13.5
■ その他	1,176	3.9	1,335	3.6	159	13.6
合計	30,143	100.0	37,161	100	7,018	23.3

構成比



業界別売上高：①電子・半導体（電着ダイヤモンドワイヤ含む）



半導体・電子部品

携帯端末などの通信機器の生産が好調で販売は増加

FPD

海外の主要販売先の生産が順調で販売は増加

伸線

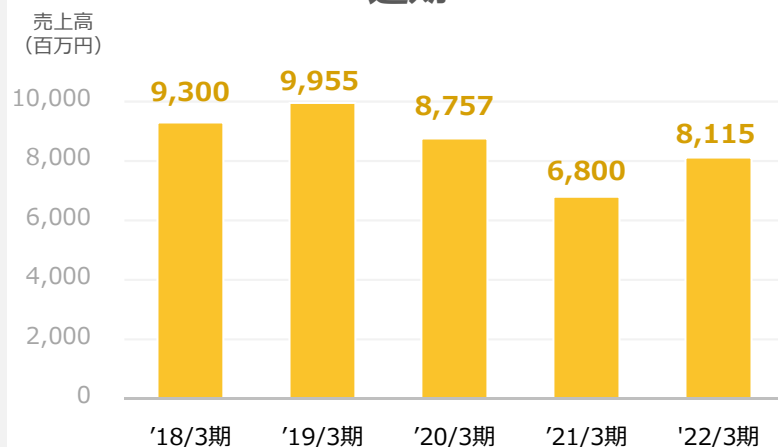
半導体関連向けが好調で販売は増加

電着ダイヤモンドワイヤ

半導体用を中心に受注が好調で販売は増加

業界別売上高：②輸送機器

通期



四半期



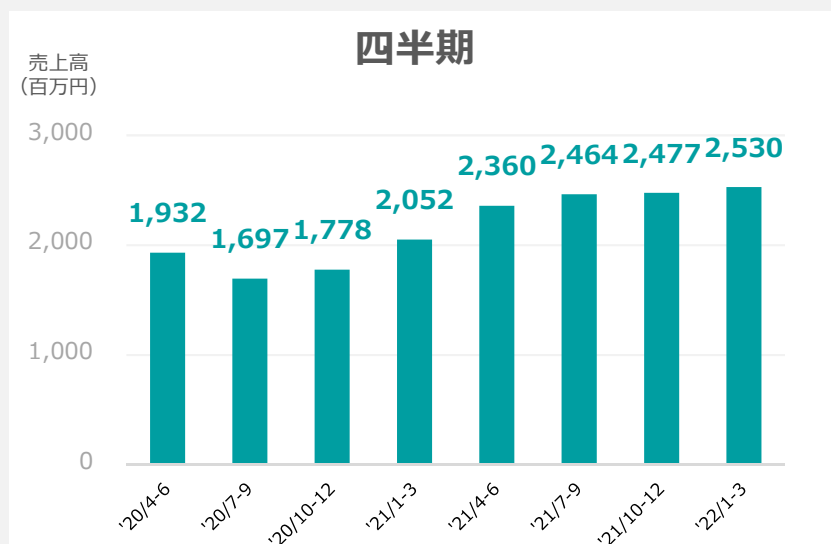
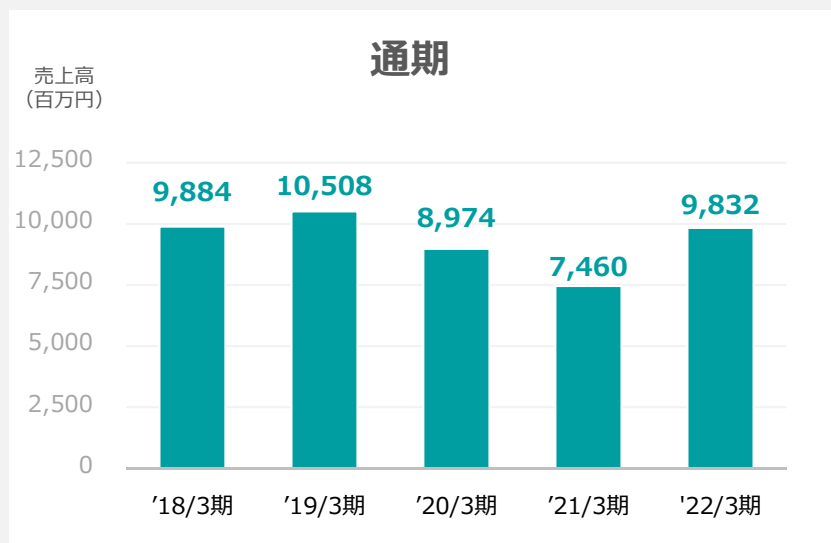
自動車

各国の生産が回復傾向でトランスミッション及びエンジン部品加工用工具の販売が増加

航空機

各国の移動制限は緩和されるも需要は低迷し、関連工具の販売は減少

業界別売上高：③機械



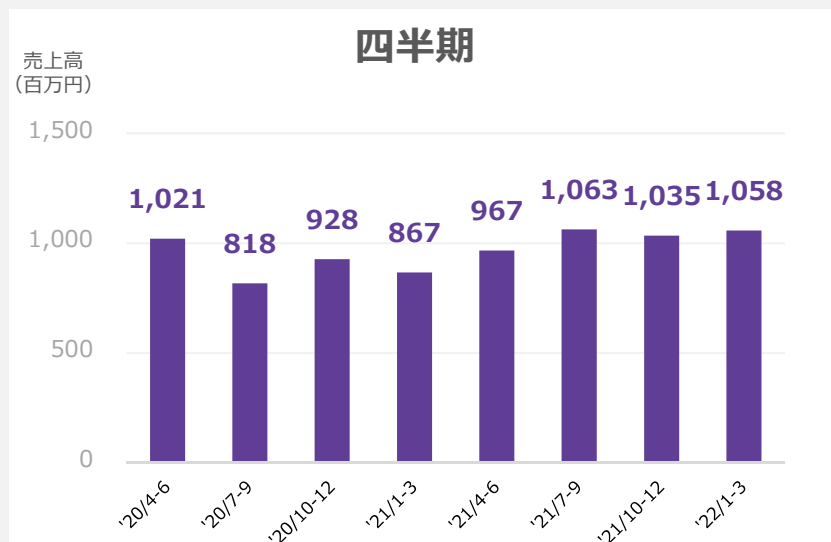
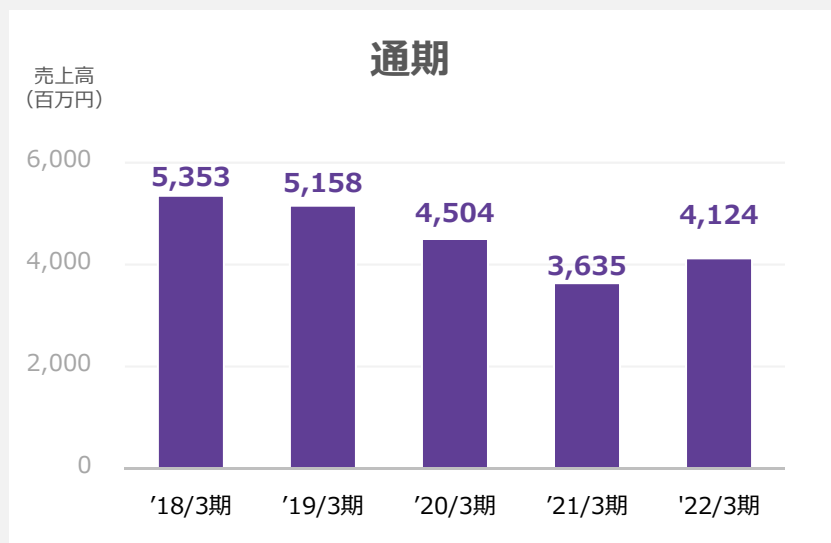
軸受

自動車、工作機械の生産増により
軸受メーカーからの受注が好調で販売が増加

超硬工具

輸送機器業界の生産増により
超硬工具メーカーからの受注が好調で販売が増加

業界別売上高：④石材・建設



資源探査

国内市場、海外市場ともに堅調に推移し販売は増加

国内建設

道路工事、解体工事ともに工事量増加に伴い
関連工具の販売は増加

流通商品(ポータブルカッタ)

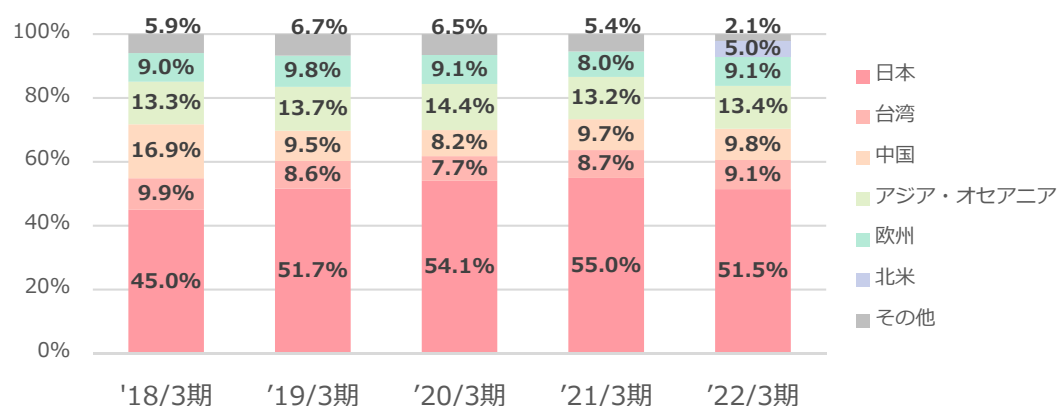
海外の主要国で回復傾向で販売は増加

地域別売上高 及び 構成比（連結）

単位：百万円

	'21年3月期		'22年3月期			
	売上高	構成比%	売上高	構成比%	前年同期 増減額	前年同期 増減率%
■ 日本	16,566	55.0	19,150	51.5	2,584	15.6
■ 台湾	2,610	8.7	3,388	9.1	778	29.8
■ 中国	2,933	9.7	3,647	9.8	713	24.3
■ その他アジア・オセアニア	3,989	13.2	4,964	13.4	975	24.4
■ 欧州	2,409	8.0	3,399	9.1	989	41.1
■ 北米*	-	-	1,841	5.0	-	-
■ その他	1,634	5.4	768	2.1	-	-
海外計	13,577	45.0	18,010	48.5	4,433	32.7
合計	30,143	100.0	37,161	100.0	7,018	23.3

構成比



日本

「電子半導体」、「輸送機器」、
「機械」などの主力業界の販売増加

中国

「電子半導体」、「機械」を中心に販売増加

その他アジア・オセアニア

「輸送機器」、「石材・建設」を中心に販売増加

連結貸借対照表

単位：百万円

資産の部	'21年3月末	'22年3月末	増減
現金及び預金	10,649	14,771	4,122
受取手形及び売掛金	9,148	10,642	1,494
たな卸資産	6,298	6,744	445
有形固定資産	26,535	25,434	▲1,100
無形固定資産	228	240	12
投資有価証券	11,581	10,715	▲866
その他	3,702	3,692	▲9
資産合計	68,144	72,241	4,097

負債の部	'21年3月末	'22年3月末	増減
支払手形及び買掛金	1,293	1,489	195
未払法人税等	70	532	461
退職給付に係る負債	5,375	5,360	▲14
その他	4,106	3,989	▲117
負債合計	10,847	11,372	525

純資産の部	'21年3月末	'22年3月末	増減
純資産合計	57,297	60,869	3,572
負債純資産合計	68,144	72,241	4,097

連結キャッシュフロー計算書

単位：百万円

	'21年3月末	'22年3月末	増減
税金等調整前当期純利益	▲381	4,408	4,789
減価償却費	2,847	2,961	113
退職給付に係る負債の増減額	▲1,938	▲221	1,716
売上債権の増減額	183	▲1,287	▲1,470
たな卸資産の増減額	▲340	▲253	86
法人税等の支払額	▲130	▲350	▲219
その他	▲330	691	1,022
営業活動によるキャッシュ・フロー 合計	▲90	5,948	6,038
有形固定資産の取得/売却	▲6,454	▲1,550	4,904
投資有価証券の取得/売却	405	371	▲33
その他	1,759	821	▲937
投資活動によるキャッシュ・フロー 合計	▲4,289	▲356	3,933
自己株式の取得/売却	▲0	16	17
配当金の支払額	▲502	▲612	▲109
その他	▲100	▲481	▲380
財務活動によるキャッシュ・フロー 合計	▲604	▲1,077	▲473
現金及び現金同等物の期末残高	10,649	15,548	4,898

01

2022年3月期決算の概要

02

2023年3月期の見通し

03

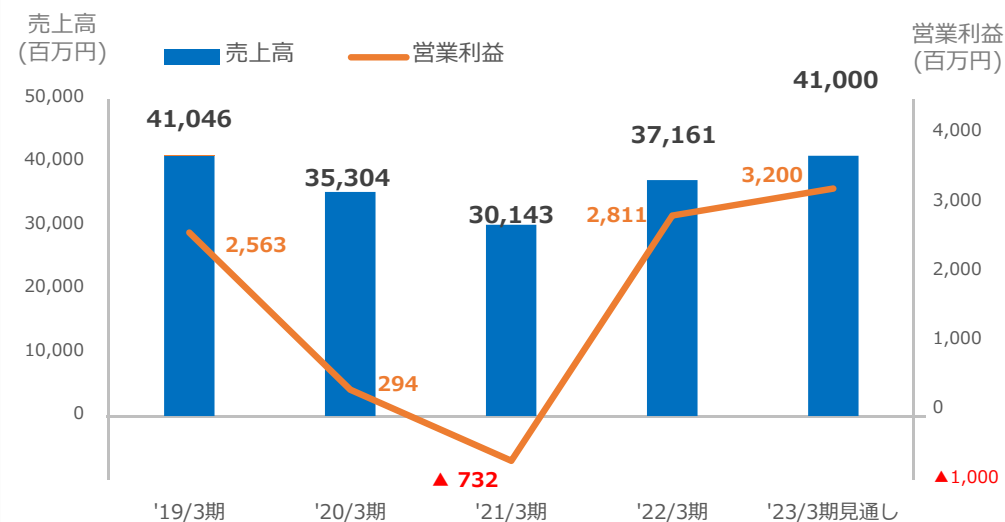
中期経営計画進捗状況

見通し概要 (連結)

単位：百万円

	'22年3月期 上期実績	百分比%	'23年3月期 上期見通し	百分比%	前年同期 増減額	前年同期 増減率%	'22年3月期 通期実績	百分比%	'23年3月期 通期見通し	百分比%	前年同期 増減額	前年同期 増減率%
売上高	18,182	100.0	19,600	100.0	1,417	7.8	37,161	100.0	41,000	100.0	3,838	10.3
営業利益	1,082	6.0	1,100	5.6	17	1.6	2,811	7.6	3,200	7.8	388	13.8
経常利益	1,367	7.5	1,300	6.6	▲67	▲4.9	3,650	9.8	3,700	9.0	49	1.3
親会社株主に 帰属する当期純利益	1,089	6.0	900	4.6	▲189	▲17.4	3,288	8.8	2,500	6.1	▲788	▲24.0
JPY/USD							109.8	-	120.0			
為替レート JPY/EUR							130.0	-	134.0			
JPY/CNY							17.0	-	18.7			

売上高・営業利益



営業利益(対前年同期増減)

増加要因

売上の増加 2,176百万円

減少要因

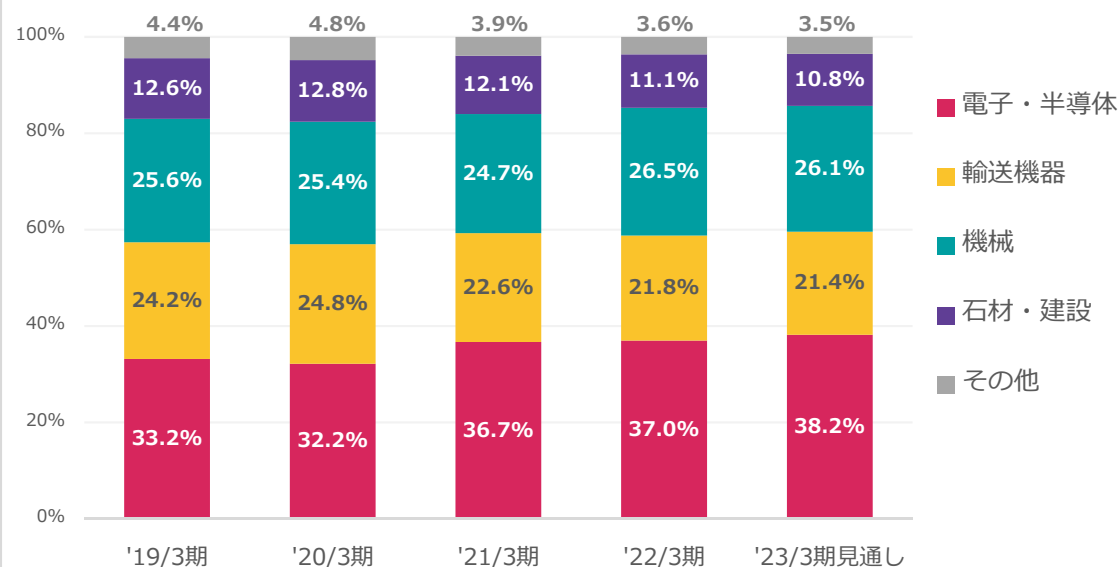
人件費の増加 992百万円

業界別売上高 及び 構成比見通し（連結）

単位：百万円

	'22年3月期 上期実績	構成比%	'23年3月期 上期見通し	構成比%	前年同期 増減額	前年同期 増減率%	'22年3月期 通期実績	構成比%	'23年3月期 通期見通し	構成比%	前年同期 増減額	前年同期 増減率%
電子・半導体	6,612	36.4	7,410	37.8	797	12.1	13,752	37.0	15,670	38.2	1,917	13.9
輸送機器	4,069	22.4	4,170	21.3	100	2.5	8,115	21.8	8,750	21.4	634	7.8
機械	4,824	26.5	5,160	26.3	335	7.0	9,832	26.5	10,710	26.1	877	8.9
石材・建設	2,031	11.2	2,120	10.8	88	4.4	4,124	11.1	4,420	10.8	295	7.2
その他	645	3.5	740	3.8	94	14.7	1,335	3.6	1,450	3.5	114	8.6
合計	18,182	100.0	19,600	100.0	1,417	7.8	37,161	100.0	41,000	100.0	3,838	10.3

構成比



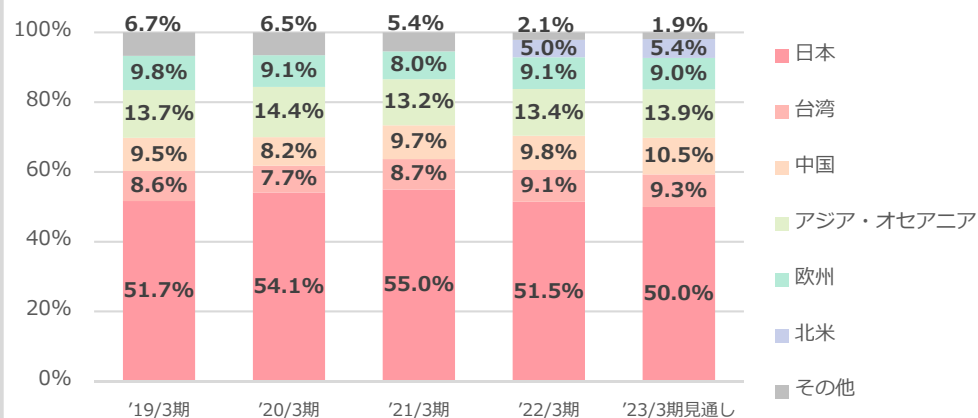
- 電子・半導体**
半導体向け関連工具を中心に販売が増加
- 輸送機器**
自動車向け関連工具を中心に販売が増加
- 機械**
超硬工具、軸受向けの販売が増加
- 石材・建設**
国内・海外ともに販売が増加

地域別売上高 及び 構成比見通し（連結）

単位：百万円

	22年3月期 上期実績	構成比%	23年3月期 上期見通し	構成比%	前年同期 増減額	前年同期 増減率%	22年3月期 通期実績	構成比%	23年3月期 通期見通し	構成比%	前年同期 増減額	前年同期 増減率%
日本	9,496	52.2	9,800	50.0	303	3.2	19,150	51.5	20,500	50.0	1,349	7.0
台湾	1,566	8.6	1,800	9.2	233	14.9	3,388	9.1	3,800	9.3	411	12.1
中国	1,755	9.7	2,100	10.7	344	19.6	3,647	9.8	4,300	10.5	652	17.9
その他アジア・オセアニア	2,378	13.1	2,700	13.8	321	13.5	4,964	13.4	5,700	13.9	735	14.8
欧州	1,751	9.6	1,800	9.2	48	2.8	3,399	9.1	3,700	9.0	300	8.8
北米	855	4.7	1,000	5.1	144	16.9	1,841	5.0	2,200	5.4	358	19.5
その他	379	2.1	400	2.0	20	5.5	768	2.1	800	1.9	31	4.0
海外計	8,686	47.8	9,800	50.0	1,113	12.8	18,010	48.5	20,500	50.0	2,489	13.8
合計	18,182	100.0	19,600	100.0	1,417	7.8	37,161	100.0	41,000	100.0	3,838	10.3

構成比



日本

電子・半導体業界・機械業界向け関連工具の販売が増加

中国

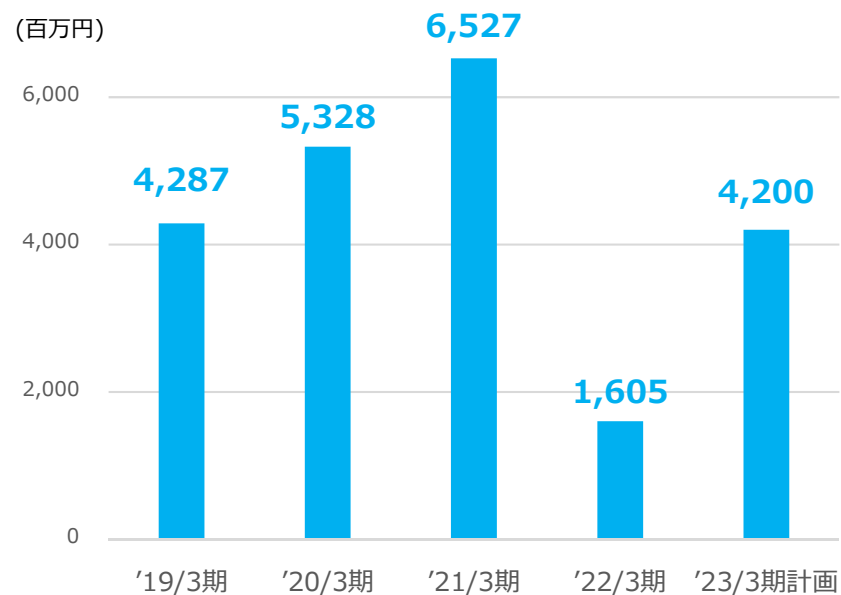
電子・半導体業界向け関連工具の販売が増加

その他アジア・オセアニア

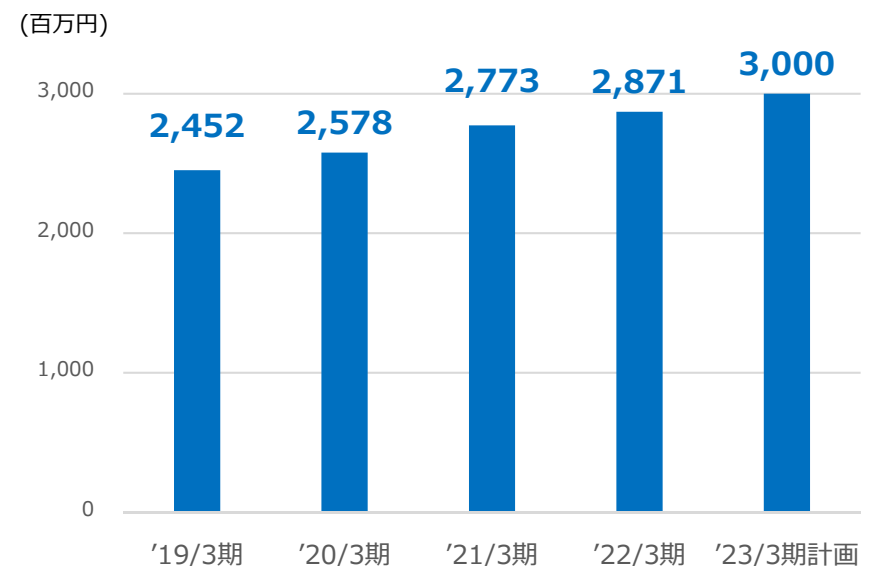
輸送機器、鉱物資源探査向け関連工具の販売が増加

設備投資実績 及び 計画

設備投資額



減価償却額



設備投資額

2022年3月期は、経常的な設備の更新

2023年3月期は、製品開発プロジェクトのための設備を中心に増強

01

2022年3月期決算の概要

02

2023年3月期の見通し

03

中期経営計画進捗状況

▼「VISION2030」で目指す当社のあるべき姿 ▼

「地域×業界」軸で戦略的な製品展開を行う

グローバルダイヤモンド工具メーカー

競争力を発揮できる領域の見定め

市場リサーチと顧客からの情報収集により、
市場動向や顧客ニーズを的確に把握

開発・製造・営業の情報連携を強化し、
顧客の求める製品を高い競争力のある形で提供



経営資源の集中配分

ターゲット領域にヒト・モノ・カネを重点配分

そのために、戦略的提携やOEMを活用し、
社外リソースを含めグローバルベースで
製造・販売の最適化を図ることで、
当社の強みを最大限に活かす

VISION2030を目指して中期経営計画2022の重点テーマを掲げた

1

高度専門化する顧客
ニーズへの一貫対応

2

グローバル展開の
最適化と加速

3

経営インフラと
管理体制の強化

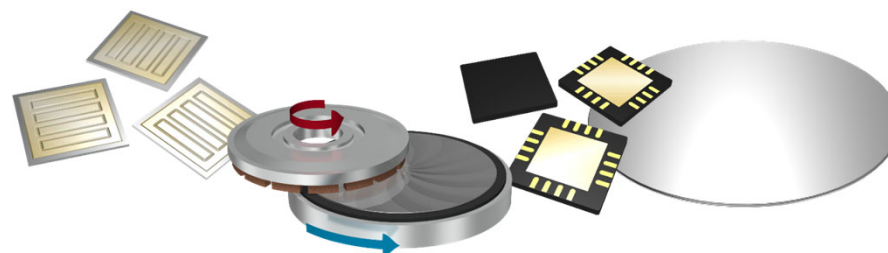
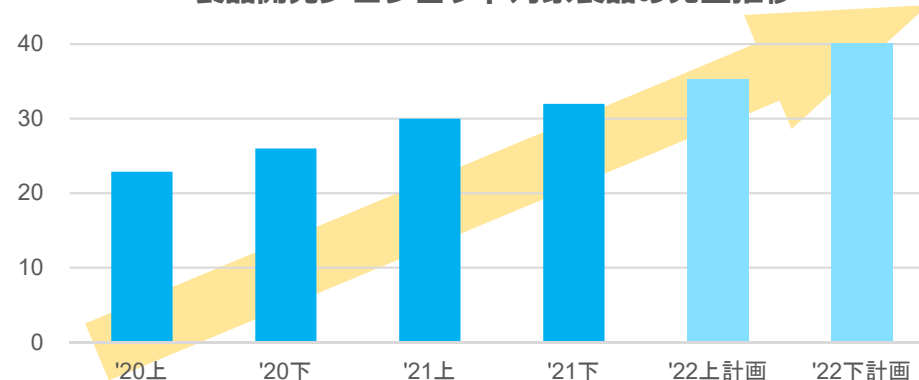
高度専門化する顧客ニーズへの一貫対応

電子半導体関連を中心に4つの製品開発プロジェクトが進行中

1

- ▶ 対象製品の2021年度売上は約62億円
- ▶ プロジェクト毎に製品開発・改良を進めている
- ▶ 国内製造拠点の整備を進めて効率化を図り、体制強化を図る

製品開発プロジェクト対象製品の売上推移



グローバル展開の最適化と加速

2

▶ Tyrolit社との業務提携

- 製品補完と販売網を相互活用
- 相互に製品供給（半導体・軸受業界向け製品等）が進捗
- 相互製品供給に伴う売上は、2021年度下期は上期の約1.4倍となり、2021年度通期では2020年度の約2.7倍となった

▶ ドイツ販売子会社を中核として欧州地域への営業体制を強化

- 自動車業界に加え、電子半導体業界へのアプローチを強化

▶ リスク管理体制の充実

- 新型コロナウイルス感染拡大、ロシア・ウクライナ情勢等のリスクへの臨機応変な対応に努めつつ、グローバル展開を進める



経営インフラと管理体制の強化

3

▶ 人事制度の見直し

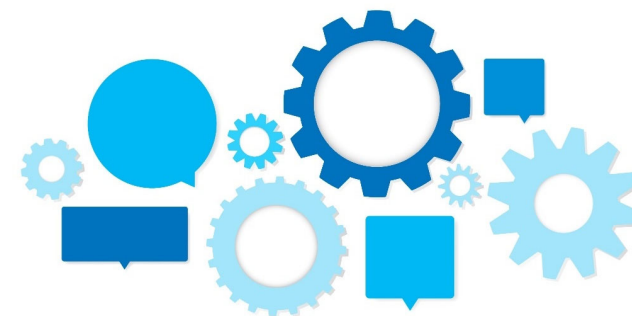
- 2023年度導入を目指して進める
- 主要なポイントは、働き方改革、人財育成、人財リソース一元管理

▶ 基幹システム刷新

- 更なる「経営数値の見える化」「業務効率化」を目指してプロジェクトを発足
- 新システム全体の検討・導入展開を推進するチームを組織化し、着実に進捗させる

▶ 法務リスク管理体制の充実

- 社内各所管部単位で管理していた法務リスクについて、全体を俯瞰し管理漏れを防ぐ体制を構築



旭ダイヤモンド工業が提供する3つの社会的価値

▶ 従来の工具の数十倍もの寿命を持ち、長期間にわたって使用頂けるエコな商品

ダイヤモンド工具は、従来の工具に比べて数十倍の長い寿命があり、各業界のお客様に長期にわたって使用いただける製品です。
着実に拡販活動が続けることが、ステークホルダーの皆さまに繋がると考えます。

▶ 高性能で素早い加工により、お客様の生産性の向上に

ダイヤモンド工具は、長期に使用いただけるだけでなく、確かな品質のもと高能率な加工が可能であり、お客様の生産性の向上に貢献しています。

▶ 省エネに繋がり、お客様の地球環境の負荷軽減に貢献

ダイヤモンド工具は、素早い加工により、結果としてお客様の省エネにも繋がります。採用いただいたお客様の環境負荷軽減に貢献できることもメリットの一つです。





唯一無二 One and Only

世界の変化を先取りし、革新的技術とグローバルな組織力で、当社にしかできない製品・ソリューションを提供し続けます。

永続的な成長 Eternal Growth

モノづくりに携わる全世界のお客様から最も頼られる存在となり、永続的に成長する企業を目指します。

働きがい Job Satisfaction

仕事のやりがいを個々の成長に結び付けて持ち味を引き出し、全従業員がいいきりと働く企業を目指します。

・本資料には、過去の事実以外に今後の業績見通しや計画が記載されていますが、これらの見通しや計画は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

・2022年3月期より「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号）等を適用しています。なお、連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

